

## 第2回年会雑感

高エネルギー物理学研究所 浅見 明

編集委員の方から原稿の依頼があり、辞退しきれず、雑文を書く破目になった。私は加速器のうち入射器系に属するため、放射光利用実験との係わりが間接的になるので、つい遠慮勝ちになる。しかし一方では、放射光に関係する分野は極めて広いため、利用実験者の間でも他分野のことはよくは理解できない、と言うような話も耳にする。それで入射器も関係ある分野として、発言してみるのもよいかもしいないと思直した。

全般的に言って、加速器に関連する報告が、私が漠然と予想したよりずっと多かった。稼動中で多くの成果をあげているいくつかの施設は勿論、小さなリングの建設がいろいろな機関で進んでいること、実施に移された大型リングの建設計画、地域の中心を目指すいくつかの大学などにおける中型リングの建設計画など、まさに発展しつつある放射光科学の現状を象徴するものであった。

講演は、正直言って分からないものも大分あった。原因の第1は、いうまでもなくこちらが素人であって、予備知識が極めて貧弱であることにある。ただ、あえていわせていただくなら、数多くの報告の中からとくに選ばれた講演であり、大部分の人は、いろいろな段階があるにしてもやはり素人であるので、これらの人々に分かってもらうのも、講演の大きな目的の一つではないかと想像する。この点から、問題の位置付け、現象の易しい説明、成果の意義などについて、もう少し分かり易く説明する配慮がなされるよう希望する。

講演についてもう一つ感じたことは、討論がやゝ少いように思ったことである。いろいろ理由はあるだろうが、やはり、もう少し活発な討論が望ましい。もしかすると、この点も考慮して大家の方々が質問されてたのかもしれない。若い人達にも、もう少し積極的な姿勢を望みたい。

ポスターセッションは専門家向けのもので、関心がある人々との間で、あちこちで活発に討論がされており、なかなかよかったと思う。とくに加速器に関して述べると、前にも触れたように、多くの建設や計画が進行している。いろいろな事情で、専門家間での議論がこれまで必ずしも充分でなく、情報交換が不足しているケースも多かった。今回の学会は、この点の改善に多少なりとも役立ったと思う。研究に関して情報を交換し、議論を重ねることは、学会本来の目的の一つであり、この点で大変有意義であったと思う。

ただ、ポスター全般については、ほとんど説明なしのグラフだけ貼りだしたのものや、説明者が不在のものなども見受けられた。今後の改善を希望する。